

# 多様な 魅力あふれる 三重の図書館

普段、なにげなく足を運ぶ図書館。  
実は、蔵書の傾向や、イベント・企画展示の工夫など、  
取組みは図書館によってさまざまです。  
そこには、土地が育んできた歴史・文化や、  
現在の地域事情が背景にあり、  
司書の方々のたゆまぬ努力によって、  
魅力あふれる図書館につくりあげられているのです。  
利用者へのニーズを拾いあげ、  
時には新しい境地へと導いていく。  
それでは、県内8館の  
特色ある図書館をご紹介します。

※ご来館の際には、年末年始・特別整理期間などの休館日をご確認ください。  
取材文／椋木敬子 写真／山羽宏樹 編集／平田晃



# 三重県立図書館

三重県総合文化センター内の三重県立図書館(以下、県立図書館)は、県内の図書館の中核となる施設です。市町立図書館や学校図書館と連携し、読書活動の推進を担うだけでなく、情報拠点として県民の学習活動を支えています。そうした

活動の取組み方針として、「どこにも2つの図書館」をかかげています。この「2つの図書館」とは、一つは、県民にとって身近な市町立図書館や、公民館の図書室、学校の図書館。もう一つは、それを支える県立図書館のことを指します。どの地域に

住む人でも、本の貸出しや情報提供において、同じように図書館サービスを受けられるよう、互いに連携に努めています。

県内の図書館と連携した企画も活発です。その一つが、東日本大震災の被災地の復興を支援するキャンペーンです。平成23年度から始まり、昨年度から熊本・大分も対象地域に加えられました。館内の展示コーナーでは、観光情報のパンフレットと一緒に、その地域に関連する本を展示。同時に防災に関する情報も利用者へ提供しました。市町立図書館にはキャンペーン用の統一ポスターを配付し、県内40館以上で展示をしました。「図書館同士が連携して、県民に広く情報を届けています。平成30年度には、三重県を中心に全国高等学校総合体育大会「2018 彩る感動 東海総体」が開かれます。それに先立ち平成30年1月から、大会情

報を提供するとともに、スポーツ関連の本を展示する連携企画を展開する予定です。市町立図書館と連携して、三重県の図書館全体で盛りあげていければいいですね」と企画総務課の長久さん。

県立図書館ならではの資料も充実しています。地域資料コーナーには、三重県の歴史・行政・文化に関する本や地図など、あらゆるジャンルの資料が揃っています。また、哲学・歴史・産業など各分野についての専門書も豊富にあり、統計書や図鑑、論文集などを使って、熱心に調べものをする利用者の姿が多く見られます。

閉架書庫には、江戸時代以前に出版・書写された和装本や巻物、漢文で著された漢籍、古地図など貴重なコレクションも所蔵しています。これらは、地域資料コーナーで申し出れば、閲覧が可能です。



児童コーナーにも力を入れています。毎月の特集展示では、テーマを決めて本を集め、子どもたちがさまざまなジャンルの本に触れることができるよう工夫しています。ほかにも、県内でも珍しい取組みとして、辞書を引かずに英語の読書を楽しむ「英語多読」コーナーや、国立国会図書館デジタルコレクション閲覧サービスを利用できるパソコン席を設けるなど、多様なニーズに対応しています。

「オンライン予約配送 また、「オンライン予約配送 サービス(e-Booking)」といった、県立図書館が所蔵する本や雑誌をインターネットで申し込み、最寄りの図書館や公民館などで受け取り・返却できる便利なサービスもあります。「県立図書館には、市町立図書館にはない専門書や、三重県関係の資料が多くあります。県立図書館をどんどん活用していただき、身近な存在にしてみたい」と、長久さんは話されます。

今後ともさまざまな取組みに挑戦し、三重県全体の図書館サービスの向上をめざす県立図書館に期待しています。



三重県総合文化センター 生涯学習棟の1階



国立国会図書館デジタルコレクションを閲覧できる席



県内でも珍しい「英語多読」コーナー



## お問い合わせ

三重県立図書館  
TEL 059-226-1180  
津市一身田上津部田1-23-4  
開館時間/9時~19時  
休館日/月曜日(休日の場合は、その直後の平日  
毎月末日  
(土日祝日の場合はその直前の平日  
年末年始・特別整理期間

いなべ市大安町 鉄道関連の本も多い、地域に愛される駅の図書館

# いなべ市大安図書館

いなべ市大安図書館は、三岐鉄道三岐線「大安」駅の構内にある珍しい図書館です。昭和61年、駅舎の建て替えの際に、「人が行き交う駅に、コミュニケーションの場を」との考えから、図書館が併設されました。改札を抜けると、切符売場の横に図書館の入口があります。見通しのいいガラスの戸を開けると、司



鉄道の本や雑誌はほかにはない充実ぶり



全体が見渡せる館内



企画コーナーに力を入れる司書の方々



出版されたばかりの文庫本が並ぶことも

も保存しています。地域の図書館として役立ちながら、駅構内にある良さを活かしたい」と話されるのは、いなべ市教育委員会の伊藤千夏さん。「子ども向けの鉄道絵本や図鑑も多いので、親子連れにも喜ばれています。窓から電車が見えるのも、楽しみのようですよ」。

そしてもう一つが、文庫本の多さです。電車の中で読む本を探す利用者に好評とのこと。

「市内のほかの図書館より学生さんの利用が多いですね。電

車や家族の迎えを待っているときに、ここで本を手にとったり、くつろいだりする姿がよく見られます」と伊藤さん。

人が交差する駅が、図書館によつて利用客の足を止め、本に親しむ機会や、時には安らぎの場を提供しているようです。

### お問い合わせ

いなべ市大安図書館  
TEL 0594 87 0021  
いなべ市大安町大井田1305  
開館時間 / 9時30分〜17時30分  
休館日 / 月曜日・火曜日

# いなべ市藤原図書館

いなべ市藤原町 子どもと絵本をつなぐ、丘の上の絵本図書館

藤原岳のふもと、緑深い丘の上に、文化活動や地域学習の拠点・藤原文化センターが建っています。図書館はその2階。靴を脱いで中に入ると、山と空のパノラマが目飛びこんできました。窓が左右に大きく広がり、自然に包まれているかのよ



季節の掲示は司書の方々の手づくり



子どもの手の届く高さに絵本が並べられている



来館した子どもたちが作る、雪だるまの飾り



床に座れるカーペット敷きの館内



### お問い合わせ

いなべ市藤原図書館  
TEL 0594 46 4150  
いなべ市藤原町市場493の1  
開館時間 / 9時〜17時  
休館日 / 月曜日・火曜日

絵本や紙芝居が集まる「絵本図書館」。毎週土曜日には、おはなし会も開かれています。「ここは、おしゃべりをしながら本を読んでもいい場所。お子さんにはのびのび過ごしてほしい」と話されるのは、いなべ市教育委員会の伊藤千夏さん。壁には、子どもが喜ぶ季節ごとの掲示。低い書棚の上には、絵本の表紙

が見えるよう並べられています。「表紙を見せる本は、テーマを決めて定期的に並べ替えています。いろいろな絵本に出会えるきっかけをつくりたくて」。

桜や雪だるまなど、来館者みんなで一つの掲示をつくりあげる参加型イベントも活発です。

楽しい空間づくりや、手にとりやすい絵本の並べ方、イベント企画は、すべて司書の方々のアイデアによるものです。冬には、「クリスマスのおくりもの」と名付けて、袋に3冊、中身が見え

ないように絵本を入れて貸し出すのだそう。袋を開けるときのワクワク感と、普段手にとらない絵本に出会ってほしいという、司書の方々の想いが詰まった企画です。ここには子どもを見守るやさしい空気が満ちていました。

# 多気町立多気図書館

町の公共施設が集まる敷地の一角に、多気町立多気図書館があります。中に入ると、高い板張りの天井が印象的な清々しい空間。中庭に沿ってソファが置かれ、ゆつくりと読書ができる落ち着いた環境です。

「利用者にとくさんの本に触れて欲しいので、本の分類や並べ方を常に考え、展示コーナーの

企画も積極的にを行っています」と話されるのは、司書の村林緑さん。シニア世代を応援するコーナー「いきいきシニアライフ」や、大人にも勧めたい絵本、テーマごとに紹介した児童書など、さまざまな角度で選ばれた本がコーナーに置かれています。なかでも「こころのレシピ本」は、静かな人気の常設コーナー。数年

前に町の福祉課から声がかかり、「心が疲れた時、元気が欲しい時、素敵な言葉や本にそつと出合ってもらえる場所にしよう」と、企画されました。司書の方々が選ぶ本は、ジャンルも実にさまざま。絵本や詩、写真集、エッセイ、読みもの、なかにはお風呂の浸かり方といった実用書もあります。

「最初に考えた以上に、多くの方が借りていかれるので驚いています。こんな時代だからこそ、乾いた心を潤したい、癒された

いと思っっている方が多いのかも少し残念ね」と村林さん。  
心が疲れたときに、ふと立ち止まれる書棚があり、元気を分けてもらえる場所。そんな多気図書館のやさしい空気が、多くの人を呼び寄せています。



木の天井に癒される館内



大人向けの絵本を集めた展示



「こころのレシピ本」コーナー



ゆつたりと本が読める雰囲気



本を手にとりやすいコーナーづくり

伊勢市八日市場町 伊勢の地域資料を網羅する、ふるさと文庫

# 伊勢市立伊勢図書館

伊勢市立伊勢図書館は、伊勢神宮(外宮)に程近い場所にあります。1階は、一般閲覧室と児童閲覧室。英語の絵本がずらりと並ぶEEECコーナーもあります。そして2階は、レファレンス室と呼ばれる、調べものをするための図書室。ここには、辞書や百科事典、年鑑、行政資料、地図などが備えられ、目

当ての本や資料に向かう、熱心な利用者の姿も見られます。この図書館の大きな特色に、2階の一角を占める、ふるさと文庫があります。ふるさと再創生事業の一つとして設置され、伊勢地域の歴史や文化、産業に関する書籍や資料が、約1万5000冊集められています。「伊勢に関する書籍は、まんべん

なく収集していると思います。なかには、伊勢市の前身である宇治山田市の市史編纂の元になった、大変貴重な手書きの資料もあります」と教えてくれたのは、館長の井辺さんです。ふるさと文庫には、伊勢神宮関連の書籍も数多くあります。「伊勢市周辺だけでなく、全国から問い合わせがあります。2階の本は貸し出しができませんが、お求めの内容によっては、必要な箇所をコピーして送ることもあります」とのことです。

また、周辺で行われる催しに合わせた展示コーナーづくりや、伊勢の歴史や文化を書籍の引用から紐解いて紹介する、「ふるさとの風」の冊子づくりも活発に行われています。伊勢神宮のお膝元、伊勢市の歩みを今に伝えています。



整然と書棚が並ぶ館内



子どもが英語に親しむEEECコーナー



地域の貴重な本を閲覧できる



ふるさと文庫の書棚



お問い合わせ  
伊勢市立伊勢図書館  
TEL 05966-2110077  
伊勢市八日市場町1-3-35  
開館時間/9時~19時  
休館日/水曜日・  
毎月第2金曜日(図書整理日)・  
特別整理期間・年末年始

# 志摩市立図書館

きれいに刈り込まれた庭園の向こうに、レンガ造りの瀟洒な建物が建っています。東京駅をモチーフに、平成6年に建てられた志摩市立図書館です。その外観の美しさが評価され、建築分野を主とする出版会社(株)エクスナレッジ発刊の「日本の最も

美しい図書館」に掲載されました。アーチを描く玄関を通り抜けると、吹抜けの広い玄関ホール。その先に図書館への入口がありました。中に入ると、季節飾りの展示がお出迎え。建物の重厚感とは趣が違う、温かい雰囲気



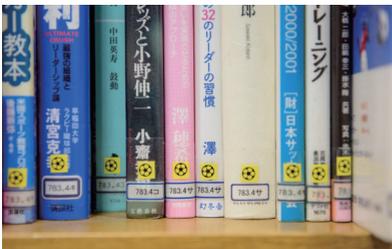
庭の景色が楽しめるよう、窓に向かって椅子を配置



好評の「閉架書庫フェスタ」の書棚



電子書籍の体験はここで



ラベルの工夫で、利用者が目的の本を探しやすい



志摩市立図書館は、展示の工夫や本の探しやすいから、ほかの図書館が視察に訪れるほど。その一つが、リサイクル品を使った展示品です。材料は、新聞紙やトイレットペーパーの芯。作品は、児童コーナーにある工本の本のなかから選びます。

「作品は身の回りのものなので作り、本と一緒に展示しています。子どもが真似して作ってみたいと思ったときに、すぐ手に取れるよう心掛けています。職員がカウンターで作っていると、子どもたちが興味を持って、会話がうまれるきっかけにもなっています」と話されるのは、館長の澤田千春さん。子どもへのやさしい思いが伝わってきます。

本のコーナーづくりも注目したいポイントです。入口のすぐ横に、「閉架書庫フェスタ」の書棚があります。これは、閉架にも優れた本が多く、また本好きの利用者からの問い合わせが

あります。平成25年に、三重県の図書館で初めて導入されました。自宅からホームページを通じて、電子書籍を借りて読むことができます。今でこそ幅広い年代に利用されていますが、導入当初は意外にも60歳から70歳の利用者が多かったとのこと。来館しなくても借りられる、文字を大きくして読めるといった声が聞かれたそうです。カウンター前には、電子書籍の利用ができる、専用のパソコン席も用意されています。

庭園を見ながら読書ができる、ゆったりとした空気が心地よい志摩市立図書館。ここには、利用者が本に親しむための職員のアイディアと温かい心が詰まっています。

### お問い合わせ

志摩市立図書館  
TEL0599-4338000  
志摩市阿児町神明1074-15  
開館時間／(4～9月)9時～19時  
(10～3月)9時～18時  
休館日／火曜日、毎月最終木曜日  
特別整理期間(2月1日～11日)  
年末年始(12月28日～1月4日)

# 志摩市磯部町 志摩市の歴史や文化、暮らしを知る拠点 磯部図書室

志摩市磯部町、磯部小学校の西側にある坂を上ると、オレンジ色の瓦屋根の建物が見えてきます。市の磯部支所が入るその建物の1階に、歴史民俗資料館と磯部図書室が併設されています。ここでは志摩市の歴史や文化、暮らしを深く学ぶことができます。一般書や絵本が並ぶその奥に、志摩の郷土にまつわ

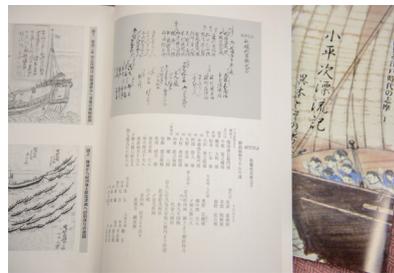
る書棚がありました。「図書室に出ている本はほんの二割ほど。収蔵庫に保管しているものも合わせると、約6500冊でしょうか」と教えてくださるの、館長の崎川 由美子さん。大変貴重な本もあるとい

あります。浄瑠璃の台本もありますよ。その昔、近頃の的矢湾は、台風を避ける船が寄港する風待ちの港として栄えました。時間を持て余す船乗りのために、よく浄瑠璃が披露されていたようです」と崎川さん。こうした貴重な本は、民家の蔵が壊されるのを見つかるそうです。ほかに、地域の歴史や文化を伝える江戸時代の古文書も保管されています。

上続いており、古文書を読み解いて冊子にまとめています。ほかに、歴史民俗資料館の企画で、展示の横で関連本を紹介することも。歴史民俗資料館と互いに連携しながら、郷土の歩みを後世に伝える役割を担っています。



志摩の郷土にまつわる書棚



古文書を読み解いて冊子に



古典籍や古文書の閲覧は、カウンターへお申し出ください



館長の崎川さん

## 度会郡南伊勢町 集落への出張サービスも活発な、町の小さな図書室 みなみいせ図書室

南伊勢町には、以前は無人の図書室しかありませんでした。町の未来を考えると、活用される図書館でなければと、思った町長や、NPOみなみいせ市民活動ネット、三重県立図書館の働きにより、ようやく司書を配置した図書室が開設。平成24年のことです。新刊図書の購入が始まり、司書の方々の努力に

よって、町民が活用しやすい環境へと整備が進みました。親子が楽しめる絵本や暮らしの本の充実。高齢者の元気を応援する本を集めた「いきいき、心豊かに」のコーナーづくりなど、二つひとつ積み重ねて、本に親しみやすい図書室ができあがったのです。この図書室の特色ある取組みに、司書が毎月2つの集落へ出

かける出張サービスがあります。町の中心まで足を運びにくい高齢者のために、「出前図書カフェ」をはじめました。例えば、古民家を借りて、語りや読み聞かせ、手遊びなどを行います。「高齢者が明るい表情になって、ありがとうと言われると、嬉しくなります」と話されるのは、司書の田中由紀子さん。ほかに、小学校や子育て支援センターへ出かけ、おはなし会を行っています。

みも。月1回の「おしゃべり川柳会」では、雑談のあとにテーマに添った川柳をひとひねり。「図書室が交流の場にもなつて欲しくて。今では開設のころの想い以上に、図書室が歩き出している感じがします。」その言葉には、図書室や町民への想いにあふれていました。

**お問い合わせ**  
みなみいせ図書室  
TEL 05999-671011  
度会郡南伊勢町五ヶ所浦3917  
開館時間 / 9時〜17時  
休館日 / 月曜日・祝日



木の椅子や机が、温もりのある空間に



ある日の「出前図書カフェ」



手書きで貸出手続きを行う司書の田中さん